

第12回日メコン経済大臣会合 共同メディア声明（仮訳）

（2020年8月27日、テレビ会議）

1. 第12回日メコン経済大臣会合（以下、会合）は、オンライン形式にて2020年8月27日に開催された。会合では、ベトナムのグエン・チー・ズン計画投資大臣と日本の梶山弘志経済産業大臣が共同議長を務めた。カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイの経済大臣及び代表者、ASEAN 事務総長並びに日メコンの産業界代表が出席した。
2. 閣僚は、コロナウイルス感染症の影響による最近の経済混乱に関わらず、コネクティビティ、デジタルイノベーション、持続可能な開発目標（SDGs）を3つの主要な柱とするメコン産業開発ビジョン（MIDV）2.0は、メコン地域のバランスのとれた発展のための解決策であり、より強靱な経済への転換に寄与すると述べた。過去の声明で述べられたように、閣僚は、地域のニーズと優先事項を念頭に置きつつ、MIDV2.0の実現を通じて、メコン地域内の連結性をさらに強化する必要性を再確認した。
3. 閣僚は、コロナウイルス感染症の影響により引き起こされた経済混乱に対処する努力と並行して、中長期的な観点から、手元にある既存の課題に対処し、解決することが重要であることを確認した。ハード・ソフト両面でのインフラ開発や関連する人材育成は、メコン地域内の連結性を促進し、域内サプライチェーンの強靱性を拡大及び向上し、最終的には全体的な生産性を向上させることにつながる鍵である。加えて、閣僚は、コロナウイルス感染症による最近の変化に対応する努力が、メコン諸国がMIDV2.0の他の2つの主要な柱である、デジタルイノベーションの推進、SDGs アジェンダへの対応に取り組む推進力となっているという見解を共有した。
4. 産業界代表は、2020年7月17日にオンライン形式で開催された、第13回日メコン産業政府対話と2020年第1回日ASEAN 経済協力委員会西東回廊開発ワーキンググループ（AMEICC WEC-WG）の合同セッションの結果について報告した。閣僚は、特に官民が協力すべき以下の提案について、産業界からのインプットに謝意を示した。
 - a) ハードとソフトのインフラ改善によるメコン地域の越境貿易の円滑化の更なる推進
 - b) 投資促進、電力の安定供給及び人材育成によるサプライチェーンの強靱化
 - c) 新型コロナウイルス感染症発生後の課題に対応するための、様々な分野でのデジタルイノベーションの更なる推進
 - d) SDGs 達成に向けた経済成長と社会課題解決の両方の推進

5. 閣僚は、MIDV2.0の着実な実行のために、メコン各国、日本及び開発パートナーから提出された、具体的な協力事業を包括的にまとめたワークプログラムを歓迎した。ワークプログラムには、コネクティビティにおける東西経済回廊や南部経済回廊の改善プロジェクト、デジタルイノベーションにおける日メコン企業の共同プロジェクト、SDGsにおける公害管理の人材育成協力が含まれる。
6. 第13回日メコン経済大臣会合に向けて、閣僚は、AMEICC WEC-WGにMIDV2.0実現のためのワークプログラムをフォローアップすることを命じた。閣僚は、これらの努力が、第12回日メコン首脳会議に報告されることに合意した。
7. 閣僚は、第13回日メコン経済大臣会合が、2021年のブルネイ・ダルサラームにおける第53回ASEAN経済大臣会合とともに開催されることに留意した。



閣僚の一覧

1. パン・ソラサック商業大臣、カンボジア
2. 梶山弘志経済産業大臣、日本
3. ケンマニ・ポンセナー商工業大臣、ラオス
4. バラッ・シイン投資・対外経済関係副大臣、ミャンマー
(タウン・トゥン投資・対外経済関係大臣代理)
5. ターウォン・セーンニウム運輸副大臣、タイ
(サックサイアム・チットチョープ運輸大臣代理)
6. グエン・チー・ズン計画投資大臣、ベトナム
7. リム・ジョクホイ ASEAN 事務総長